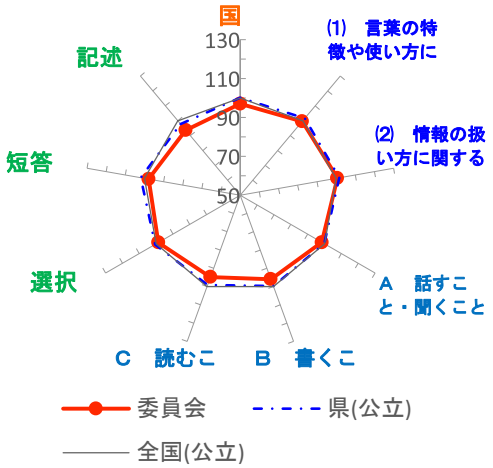
＜中学校国語＞



国語
全体の正答率は、全国の正答率を下回っている。領域別では、「情報の扱い方に関する事項」における平均正答率は全国を上回っている。

言葉の特徴や使い方に関する事項	◇助動詞の働きや単語の類別について理解することができる。 ◆単語の活用について理解に課題がある。
話すこと・聞くこと	◇目的や場面に応じて、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討することができる。 ◆互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめることに課題がある。
書くこと	◇目的や意図に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができる。 ◆文章の内容を伝えたり印象付けたりする上で、語句や表現がどのように働いているかを考えながら、描写することに課題がある。
読むこと	◆文章の中心的な部分と付加的な部分について叙述を基に捉えることに課題がある。 ◆文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにすることに課題がある。

授業改善のポイント

◇→概ね身についている。
◆→課題がある。

●日常の言語活動を振り返ることなどを通して、日常の言語活動の中にある言葉の特徴やきまりなどに気付くことも重要である。
●自分の考えが伝わる文章にするためには、説明や具体例、事物の描写の仕方、表現の技法、語句の用法などに着目し、工夫することが大切である。他の文章を読んで、用いられている表現の工夫に着目し、どのような効果があるかなどについて検討した上で、自分の書く活動へ生かす活動を取り入れる。
●文章を読んで自分の考えを確かなものにするためには、具体的な場面を思い浮かべ、「構造と内容の把握」や「精査・解釈」の学習過程を通して理解したことと結び付けるなどして、改めて自分が文章をどのように捉えて精査・解釈したのかを振り返る。